

令和 8（2026）年度 第 7 回 城郭市民セミナー

「映像で振り返る姫路城昭和の大修理」

昭和の大修理は、慶長6年（1601）に始まる池田輝政による姫路城の築城以来、初めて行われた全解体修理です。この大修理では、図面の作成や写真撮影をはじめ、様々な方法で工事の記録保存が行われました。その一環として、工事の様子を記録した映像が撮影されています。映像には昭和31年（1956）から昭和39年にかけて行われた、姫路城大天守の修理工事の様子が収められています。

講演では、当時の貴重な記録映像を紹介しながら、姫路城大天守の解体から組立に至るまでの過程を振り返ります。

日時 2026年12月19日（土） 13：30～15：00

場所 日本城郭研究センター 2階大会議室

講師 松井 俊樹（姫路市立城郭研究室）

定員 180名（応募多数の場合は抽選）

参加費 無料

申込方法 事前申込制 下記①②いずれかの方法でお申し込みください。

① 往復ハガキ（1通につき、1人まで） 11月16日（月）必着

〒・住所・氏名（ふりがな）・電話番号を明記。返信ハガキに返送先の宛名を記入の上、下記申込先まで郵送してください。

② インターネット申込（電子申請） 10月15日（木）～11月16日（月）17時まで

城郭研究室 HP「イベント」内のリンクからお申し込みください。

お問い合わせ・お申込み先

〒670-0012 姫路市本町 68-258 姫路市立城郭研究室「昭和の大修理」係 TEL 079-289-4877

城郭研究室 HP <https://www.city.himeji.lg.jp/jyokakuken/>

※城郭研究室では、姫路城三の丸にあった御殿・櫓などの資料（古写真・古文書など）を探しています！

映像には工事の様々な様子が
映されているよ！
どれだけ大規模な修理だったか
一緒に振り返ろう！

